

1 研究主題

「お互いの良さを認め合える学習活動を目指した授業への取り組み」

2 主題設定の理由

日々、目まぐるしく変化していく現代社会において、我々大人でもその変化に対応していくことは本当に難しく、それだけでも時間と労力が必要とされている。そして、時には不安を感じてしまう。そのような時代の中、またコロナ禍を経験、乗り越えてきた子どもたちと接していると、「はたしてこれでよいのか」と、どこか自信が持てずに生活を送っている場面が、以前より多く見受けられる。

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育科編において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が示されており、その中に、深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが大切で、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」が重要であると考えられる。

そこで本研究では、授業の展開場面において、自らが意欲的に取り組める学習過程の工夫と自らの学びを進め、振り返ることのできる学習シートやICT機器の活用しながら進めていく。また、ペアや小グループで活動する場面を多く設定することにより、自己の課題を発見し、他者と関わり合う中で、その解決に向けお互いの良さを引き出すことや、学び方を考える力を育むことができるのではないかと考え、本主題を設定した。

3 研究仮説

仮説（1）

自己の課題やその取り組みについて、学習カードを用いて生徒個人だけで振り返るだけでなく、他者からのより具体的なアドバイスをする場面を増やすことによって、互いの良さをより引き出していけるようになるだろう。

仮説（2）

ICT機器等を活用し、自身を客観的にとらえる場面を設定し、自分の良さや改善点について言葉だけでなく視覚的にとらえることによって、新たな学び方や課題解決につながるだろう。

4 研究計画

時 期	研 究 内 容
4 月	研究の方向性についての検討 研究次第検討
5 月	研究次第決定 研究計画立案
6 月～7 月	研究計画決定 研究仮説の検討
8 月	研究仮説の決定 紙上提案
9 月～3 月	授業実践 実践データ等集約
4 月～5 月	授業実践の考察
6 月～7 月	研究のまとめ
8 月	研究発表

1 研究主題

鬼ごっこを活用したドリル運動やサーキットトレーニングによる基礎的運動能力の向上
～遊びを活用した授業づくり～

2 主題設定の理由

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説保健体育科編においては、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、運動やスポーツとの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践できるよう、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の育成を重視する観点から、内容等の改善を図ることが示された。また、富里市では令和4年10月8日に市制20周年を記念して、今後も躍動するとみさとであり続けるために、「とみさと元気なまち宣言」をした。これまで本校の授業実践では、ICTを活用したり、話し合い活動の中で課題解決をするなど取り組んできた。しかし、考える力を向上させるには効果があったものの、運動能力の向上や好き・嫌いの二極化の改善にはあまり効果が得られなかった。そこで、本研究では、授業の展開場面において、鬼ごっこを通して運動能力を向上させる方法を探りたいと考え、本主題を設定した。

3 研究仮説

年間を通して、ウォーミングアップやドリル運動にその単元に則した鬼ごっこの要素を取り入れる。

仮説(1)

その単元が好きな子も苦手な子も体育に取り組む意欲が向上する可能性がある。

仮説(2)

スピード・瞬発力・敏捷性の向上する可能性がある。

4 研究計画

時 期	研 究 内 容
4月	研究の方向性についての検討 研究次第検討
5月	研究次第決定 研究計画立案
6月	研究計画決定 研究仮説の検討
7月	研究仮説の決定
8月	紙上提案
10月～3月	授業実践 実践データ集約
4月～5月	授業実践の考察
6月～7月	研究のまとめ
8月	研究発表